

政策名	5安全な港		責任者	総務部 危機管理室担当課長	連携担当課
基本施策名	07危機管理機能の強化				
個別施策名	21防災対策を強化する		連絡先	052-654-7813	
事務事業名	04沿岸防災情報管理システムの管理運営				

1 PLAN(目的・概要)

目的	防潮扉が閉鎖状況にあることを迅速に確認します。	事業期間	平成13年度～継続
概要	沿岸防災情報管理システムを適正に点検・管理し、高潮や津波等発生時に、防潮扉の閉鎖を委託事業者に一斉通報し、閉鎖状況にあることを迅速に確認します。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	保守点検:テレメータ監視装置、自動通報装置、無停電電源装置 各1式、中継局 13局、リミットスイッチ 55箇所 不具合箇所の修繕:リミットスイッチ 4箇所、配管補修 1箇所、アンテナ修繕 5箇所、無停電電源装置(UPS)バッテリー交換 1式 月1回の試験通報 [平成21年度実施内容+新庁舎へのシステム移設]						
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
保守点検	単位	目標	1	1	1	1	年間の保守・点検を実施し、適正な管理を行います。
	回	実績	1	1	1	1	
試験通報	単位	目標	12	12	12	12	月1回の試験通報を行ない、到達・応答の精度、確認時間をチェックします。
	回	実績	12	12	12	12	
事業費	千円	2,191	2,779	2,922	11,362		
人員 正規職員	人	0.80	0.80	0.80	1.00		
	嘱託職員	人					
人件費相当額	千円	6,948	7,016	6,866	8,778		
事業費・人件費の合計	千円	9,139	9,795	9,788	20,140		

3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)
通報試験 到達・応答の精度	単位	目標	100	100	100	100	試験通報の到達・応答の精度 (応答数÷閉鎖指示数)
	%	実績	98	97.6	99.4		
	達成率(%)		98.0	97.6	99.4		
通報試験 確認時間	単位	目標	25	25	25	25	試験通報の確認時間 (閉鎖指示から応答までの時間)
	分	実績	25	30.8	32		
	達成率(%)		100.0	81.2	78.1		
観点	課題の有無	現状の「見える化」				その他特記事項	
必要性	組合関与の必要性	有・無	・防潮扉の開閉操作通知と開閉状況の確認は本システムにて行うため、引き続き本組合が関与していく必要があります。				
	目的・水準の妥当性	有・無					
	利用者などの対象者ニーズ	有・無					
有効性	成果の達成度	有・無	・試験通報の確認時間が長くなっており、操作委託業者の意識啓発が必要と考えます。				
	内容の妥当性	有・無					
効率性	実施主体の妥当性	有・無					
	受益者負担の適正性	有・無	・沿岸防災情報管理システムについては、通報手段の多様化等、より効率化したシステムとなるような設備更新を検討していきます。				
	経済性	有・無					

4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」・「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大	維持	縮小	防災管理上必要なシステムであるため。
			○		
		縮小	維持	拡大	
		コスト			
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等	現行の通報システムから、より効率的なシステム化を目指し設備更新を検討していきます。				